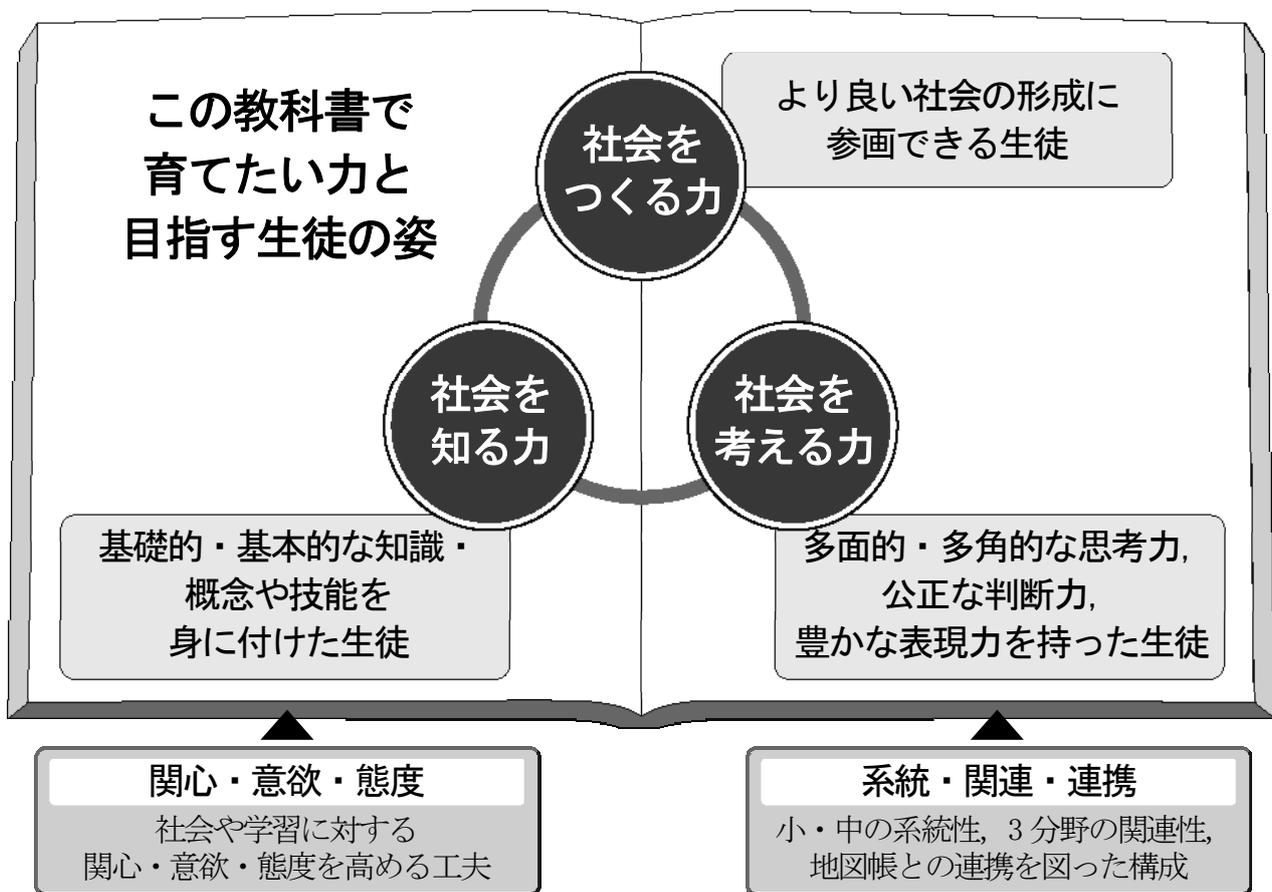


# 編 修 趣 意 書

## (教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-90	中学校	社会	社会（地理的分野）	第 1～2 学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
2 東書	地理 725	新編 新しい社会 地理		

### 1. 編修の趣旨及び留意点



1. 教育基本法に定められた教育の目的である、「平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質」の育成に資するために、家庭や学校、地域社会の構成員、国家・社会の形成者としての資質を備え、我が国の伝統と文化を重んじ、創造性豊かに社会を構築していく、心豊かな生徒の育成を目指し、以下の点に留意しました。
  - ①社会に対する関心を高め、社会の在りようや課題を正しく認識するために、社会科の基礎的・基本的な知識や概念、技能を確実に習得し、「確かな学力」を身に付けられるように配慮しました。
  - ②我が国や世界が抱える諸課題について考察し、解決の方法を考える力を育成するために、多面的な思考力、公正な判断力、豊かな表現力を身に付けられるように配慮しました。
  - ③グローバル化や情報化の進展など、急速に変化する現代社会に対応し、より良い国家や社会を構築する力を育成するために、主体的に社会に参画する意識や態度を養えるように配慮しました。
2. 小学校第3学年から中学校第3学年までの7年間で学習する「社会科」の位置付けと、地理・歴史・公民3分野の学習を総合した中学校の「社会科」の特性を重視し、小学校社会科との系統性を高め、中学校社会科3分野の関連を図り、併せて地図帳と連携した学習を展開することで、教育基本法に定められた教育の目標が達成できるように配慮しました。

## 2. 編修の基本方針

### ■ 編集方針①…【社会を知る】 基礎的・基本的な知識・概念や技能を確実に定着させる

- ・中学校社会科で習得すべき知識や概念を過不足なく盛り込みました。特に、地理の学習を進める上で必要不可欠な事項や、生徒がつまづきやすい事項については、巻末の「用語解説」で簡潔な補足説明を加えることで、定着を確実にするように配慮しました。
- ・多様な技能や社会的な見方・考え方を身に付けられるように、写真・グラフ・地図などの資料の読み取り方や調べ学習を行う際の手法を豊富に紹介し、地理学習に必要な基礎的スキルを習得できるように配慮しました。

### ■ 編集方針②…【社会を考える】 多面的・多角的な思考力、公正な判断力、豊かな表現力を育てる

- ・本文の記述を補完する写真・グラフ・地図などの資料を豊富かつ効果的に配置し、資料を読み取る視点を適切に示すことで、読み取りや解釈を通して、思考力や判断力を身に付けられるように配慮しました。
- ・見開きごとに短時間で取り組める言語活動を設けたり、世界の各州や日本の各地方の学習の最後にその州・地方のまとめの言語活動を設けたりすることで、思考・判断した内容を、適切に表現する力が身に付けられるように配慮しました。

### ■ 編集方針③…【社会をつくる】 より良い社会の形成に主体的に参画する力を育てる

- ・領土をめぐる問題や地球環境問題など、我が国や国際社会が抱える諸課題の地理的背景を取り上げることで、その背景や経過に目を向け、解決のためにできることを考えられるように配慮しました。
- ・身近な地域を調査する単元で、地域の将来について考える教材を取り上げることで、地理的分野の学習で習得した知識・概念や技能、思考力・判断力・表現力を活用して、積極的に社会参画をしていく意識と態度を養えるように配慮しました。

### ■ 編集方針④…【関心・意欲・態度】 社会や学習に対する関心・意欲・態度を高める工夫

- ・教科書の導入となる見返しや、各単元の導入では、学習内容に関連する写真を豊富に掲載し、学習への関心や意欲を高められるようにしました。
- ・中学生が実際に活動している場面などを掲載したり、日常生活に関連する身近なトピックを取り上げたりすることで、自分の生活する社会への関心や、より良い社会の形成に参画する意欲や態度を高められるようにしました。

### ■ 編集方針⑤…【系統・関連・連携】 小・中の系統性、3分野の関連、地図帳との連携を重視する

- ・各単元の学習の最初に、小学校社会科の学習事項を用語や写真で振り返る活動を設けることで、小・中の学習をスムーズに接続できるように配慮しました。
- ・地理的分野と歴史的分野の学習の上に公民的分野の学習を位置付けることで、中学校社会科の教科としての目標を達成するために、「環境・エネルギー」「伝統文化・宗教」「防災・安全」「人権・平和」の四つのテーマで、一つの社会的な課題や事象について、3分野それぞれの視点から考察する深化教材やコラムなどを掲載しました。

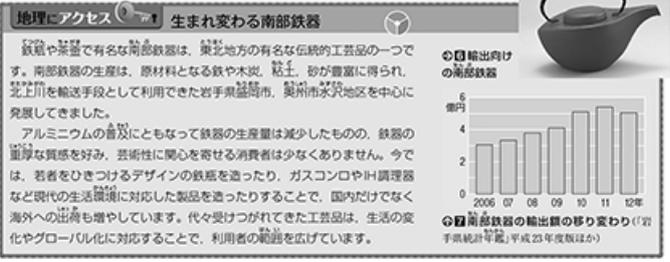
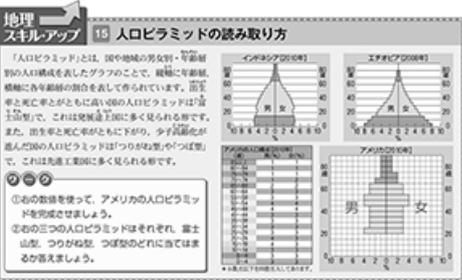
#### ● 3分野の関連で扱った教材の例

テーマ／教材		地理的分野	歴史的分野	公民的分野
環境・エネルギー	エネルギー	さまざまな発電方法の特徴と課題 <a href="#">▶170-171 ページ</a>	人類の歴史とエネルギー <a href="#">▶272-273 ページ</a>	日本のエネルギー政策とこれから <a href="#">▶182-183 ページ</a>
	公害と克服	工業化・都市化にともなう地域への影響 <a href="#">▶186 ページ</a>	現代の公害問題とその克服 <a href="#">▶268-269 ページ</a>	公害のない社会へ <a href="#">▶160-161 ページ</a>
伝統文化・宗教	イスラム教	イスラム教と人々の暮らし <a href="#">▶41 ページ</a>	歴史の中のイスラム文化 <a href="#">▶136-137 ページ</a>	パレスチナ問題と中東和平 <a href="#">▶190-191 ページ</a>
	伝統的工芸品(南部鉄器)	生まれ変わる南部鉄器 <a href="#">▶247 ページ</a>	南部鉄器のおこり <a href="#">▶121 ページ</a>	世界で活躍する日本の中小企業 <a href="#">▶129 ページ</a>
防災・安全	震災と防災(東日本大震災)	震災と防災・減災への取り組み <a href="#">▶154-155 ページ</a>	歴史の中の大震災 <a href="#">▶270-271 ページ</a>	東日本大震災からの復興と防災 <a href="#">▶112-113 ページ</a>
	都市の安全(東京)	集中豪雨から都市を守る地下調節池 <a href="#">▶229 ページ</a>	江戸の火消し <a href="#">▶125 ページ</a>	社会の安全と人権 <a href="#">▶65 ページ</a>
人権・平和	アイヌ民族	アイヌの人たちと多文化共生 <a href="#">▶262 ページ</a>	北海道とアイヌ民族の歴史 <a href="#">▶234-235 ページ</a>	アイヌ民族と先住民族の権利 <a href="#">▶66-67 ページ</a>
	沖縄と平和	沖縄の土地利用 <a href="#">▶185 ページ</a>	戦争を記憶し、平和を発信する沖縄 <a href="#">▶263 ページ</a>	沖縄と基地 <a href="#">▶43 ページ</a>

- ・同一の写真・グラフ・地図を3分野共通で掲載し、各分野の視点で考察する活動を設けることで、地理・歴史・公民3分野の学習内容の関連を図り、一つの事象を多面的・多角的に考察する力を育てられるように配慮しました。
- ・地理的分野では、教科用図書「地図」とのより密接な連携を図るとともに、歴史的分野、公民的分野の学習内容においても地図帳との連携を図ることで、学習内容の理解を深められるように配慮しました。

### 3. 対照表

■ 教育基本法第2条の各号に定められた教育の目標を実現するために、教科書全体を通して、以下のような配慮をしています。

各単元に共通する内容		
図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
平易な文章	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い視野から社会的事象の意味を確実に理解し、考察できるように、文章を平易に記述しました（第1号）。</li> </ul>	全体
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文での学習内容を補充する「地理にアクセス」を設け、関連した知識を確実に習得できるようにしました（第1号）。</li> </ul>  <p>→247 ページ</p>	65, 133, 185, 197, 221, 233, 247 ページ など全体で 50 か所
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文での学習内容を深化させた「深めよう」を設け、本文の学習内容を基礎にして、学習をさらに掘り下げられるようにしました（第1号）。</li> </ul>	41, 103, 154-155, 170-171 ページ など全体で 16 教材
	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習に必要な技能を系統的に身に付けさせるための「地理スキル・アップ」を設け、学習した内容を確認する「ワーク」を適宜設定することで、地理学習に必要な技能を確実に定着できるようにしました（第1号）。</li> </ul> <p>→157 ページ</p> 	49, 87, 131, 137, 148-149, 157, 268-269 ページ など全体で 16 か所
国宝・重文マーク  世界遺産マーク 	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の歴史の中で残されてきた国宝や重要文化財、世界遺産リストに登録されている自然や文化財にはマークを付すことで、我が国の伝統と文化に目を向け、尊重する態度を養えるようにしました（第5号）。</li> </ul>  <p>→203 ページ</p>	全体
単元ごとの内容		
第1編第1章 世界の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球儀や地図帳、統計資料の活用の仕方を学習する「地理スキル・アップ」を設け、確認問題の「ワーク」を適宜設定することで、地理学習の基盤になる地理的技能を確実に習得できるようにしました（第1号）。</li> <li>主な国々の名称と位置を学習するページでは、世界の各州を人口、面積、国境線などの視点からとらえる展開にすることで、世界を多面的・多角的にとらえながら学習を深められるようにしました（第1号）。</li> </ul>	9, 11, 14 ページ  15-19 ページ
第1編第2章 世界各地の人々の生活と環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真や雨温図、主題図の読み取り方を学習する「地理スキル・アップ」を設け、地域を追究する上で必要な技能を、地理的分野の学習の早い段階で習得し、第3章の地誌学習でも生かせるようにしました（第1号）。</li> <li>六つの事例地域の雨温図に東京の雨温図を並べて掲載することで、日本と比較しながら事例地域を理解できるようにしました（第1号）。</li> <li>イスラム教徒の生活・文化と、地域による違いを取り上げる「深めよう」を設け、異文化に対する理解を促し、尊重する態度を養えるようにしました（第5号）。</li> </ul>	25, 39 ページ  24-35 ページ  41 ページ

<p>第1編第3章 世界の諸地域</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ州、アフリカ州、オセアニア州の環境問題・環境保全について取り上げる「深めよう」を設け、各地での取り組みや課題を理解しながら、環境保全の意識を高められるようにしました（第4号）。</li> <li>・アジア州の文化的交流や、北アメリカ州で形成される多民族社会などを取り上げる「深めよう」を設け、多民族・多文化共生の重要性を意識できるようにしました（第5号）。</li> </ul>	<p>71, 81, 113 ページ</p> <p>59, 93, 103 ページ</p>
<p>第1編第4章 世界のさまざまな地域の調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ学習に必要なスキルを身に付けるための「調査の達人」を設け、探究的な学習を、主体的に進められるようにしました（第1号・第2号）。</li> <li>・調べ学習の過程やポイントを丁寧に説明することで、国や地域について多面的・多角的にとらえる意識を高め、国際社会の現状を理解できるようにしました（第2号・第5号）。</li> </ul>	<p>116-125 ページ</p> <p>115-125 ページ</p>
<p>第2編第1章 日本の姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際化した生活の中で理解が必要な時差について、調べ方を学ぶ「地理スキル・アップ」を設け、特に生徒がつまづきやすい計算方法について説明を充実させることで、確実に習得できるようにしました（第1号）。</li> <li>・我が国が抱える領土をめぐる問題に関する「地理にアクセス」を設け、地理的背景を取り上げることで、問題を正しく理解し、国際平和のために解決すべき課題であることを意識できるようにしました（第5号）。</li> </ul>	<p>131 ページ</p> <p>134-135 ページ</p>
<p>第2編第2章 世界から見た日本の姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震や津波発生の仕組み、防災・減災の対策を取り上げる「深めよう」を設け、防災や安全についての意識を高めるとともに、東日本大震災以降の社会づくりに主体的に参画する態度を養えるようにしました（第3号）。</li> <li>・様々な発電方法の特徴や課題を取り上げる「深めよう」を設け、環境問題などに関連付けながら、日本の電力の在り方について主体的に考えられるようにしました（第3号・第4号）。</li> </ul>	<p>154-155 ページ</p> <p>170-171 ページ</p>
<p>第2編第3章 日本の諸地域</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地方の学習の初めに、地方を概観するページを4ページ(2単位時間)設け、各地方を主体的に追究するために必要な、自然環境、産業などの基本情報をおさえられるようにしました（第1号）。</li> <li>・各地方で活躍する人々のインタビューコラムを掲載し、勤労観の基礎を養えるようにしました（第2号）。</li> <li>・各地方を概観するページでは、その地方で見られる防災対策など、自然との共生の工夫を取り上げる「地理にアクセス」を設け、地域の特色を理解しながら、主体的に社会に参画する意識を高められるようにしました（第3号・第4号）。</li> <li>・屋久島や琵琶湖の環境保全の取り組みを取り上げる「深めよう」を設け、環境保全についての意識を高められるようにしました（第4号）。</li> <li>・北陸の郷土料理を取り上げる「深めよう」など、日本各地の伝統・文化を取り上げる中で、自分の身近な地域にも目を向け、郷土を愛する心を身に付けられるようにしました（第5号）。</li> <li>・地域的特色を背景にしたアイヌ民族の文化を取り上げる「深めよう」を設け、その文化の歴史的背景も合わせて理解することで、多文化共生の重要性を意識できるようにしました（第5号）。</li> </ul>	<p>180-183, 216-219 ページ など</p> <p>199, 211, 221, 233, 259 ページなど</p> <p>181, 205, 217, 229, 241 ページなど</p> <p>190, 214 ページ</p> <p>226 ページなど</p> <p>262 ページ</p>
<p>第2編第4章 身近な地域の調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ学習に必要なスキルを身に付けるための「調査の達人」を設け、探究的な学習を、主体的に進められるようにしました（第1号・第2号）。</li> <li>・身近な地域を調べる中で、グループでの話し合いや発表の場面などを充実させることで、他者を尊重し、協力する態度を育てられるようにしました（第2号）。</li> <li>・身近な地域の将来像について話し合ったり発表し合ったりする場面を充実させることで、より良い地域づくりに主体的に参画する意識や態度を養えるようにしました（第3号）。</li> </ul>	<p>266, 270, 272, 278 ページなど</p> <p>264-281 ページ</p> <p>278-281 ページ</p>

### 11 編 1 章 11 ページ (第 1 号)

#### 地理 スキルアップ 2 地図帳を使った国や都市の探し方

国や都市などの位置を調べるには、地図帳の巻末にある索引を使うと便利です。例えば、**①**の地図帳に示されたラズベグを索引に見てみましょう。地図帳の索引には、次のように表示されます。

例 ラズベグ **①** **②** **③** **④** **⑤**

① 国名  
② 州名  
③ 郡名  
④ 市町村名  
⑤ 座標

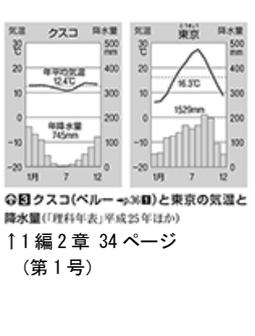
①の地図帳に示されたラズベグの地図を探したら、経緯の別にあるアラフベグが示す経緯と、緯度の異なる数字が示す緯度の経緯とが一致する部分を見つけます。この部分で「N」の記号を探すと、ラズベグが見つかります。

②の地図帳に示されたラズベグの地図を探したら、経緯の別にあるアラフベグが示す経緯と、緯度の異なる数字が示す緯度の経緯とが一致する部分を見つけます。この部分で「N」の記号を探すと、ラズベグが見つかります。

③の地図帳に示されたラズベグの地図を探したら、経緯の別にあるアラフベグが示す経緯と、緯度の異なる数字が示す緯度の経緯とが一致する部分を見つけます。この部分で「N」の記号を探すと、ラズベグが見つかります。

④の地図帳に示されたラズベグの地図を探したら、経緯の別にあるアラフベグが示す経緯と、緯度の異なる数字が示す緯度の経緯とが一致する部分を見つけます。この部分で「N」の記号を探すと、ラズベグが見つかります。

⑤の地図帳に示されたラズベグの地図を探したら、経緯の別にあるアラフベグが示す経緯と、緯度の異なる数字が示す緯度の経緯とが一致する部分を見つけます。この部分で「N」の記号を探すと、ラズベグが見つかります。



### 11 編 3 章 59 ページ (第 5 号)

#### アジアで交流する文化

急速な成長の中で結び付きが強まったアジアの国や地域では、日本のアニメや漫画が広まっています。アジアの都市では、日本の漫画のように、日本の漫画が人気を博しています。日本のアニメも数えられるようになり、その多くは輸出されただけでなく、日本のアニメを基にした映画やテレビ番組が制作されるようになっています。アジア各地の文化の結びつきと変化について考えてみましょう。

アジアの国にも似たような形でアニメが作られています。例えば、インドネシアの国にも作られている。昔ながらのスタイルで、日本の漫画やアニメのスタイルを模倣しています。日本とインドネシアの文化が共有されているのは、キャラクターデザインや設定、演出面などを日本側が担当し、配役の決定や映像制作を主にインドネシア側が担当しました。

こうした文化の輸出は、日本だけでなく、韓国や台湾などでも積極的に取り進めています。韓国のドラマは日本でも話題になりました。シン・ヘソ(上海)やホンコン(香港)、パシフィック、ホー・トンなどの都市でも制作されています。

### 12 編 1 章 131 ページ (第 1 号)

#### 地理 スキルアップ 12 時差の調べ方

① 時差を調べる

② 時差を調べる

③ 時差を調べる

④ 時差を調べる

⑤ 時差を調べる

⑥ 時差を調べる

⑦ 時差を調べる

⑧ 時差を調べる

⑨ 時差を調べる

⑩ 時差を調べる

⑪ 時差を調べる

⑫ 時差を調べる

⑬ 時差を調べる

⑭ 時差を調べる

⑮ 時差を調べる

⑯ 時差を調べる

⑰ 時差を調べる

⑱ 時差を調べる

⑲ 時差を調べる

⑳ 時差を調べる

㉑ 時差を調べる

㉒ 時差を調べる

㉓ 時差を調べる

㉔ 時差を調べる

㉕ 時差を調べる

㉖ 時差を調べる

㉗ 時差を調べる

㉘ 時差を調べる

㉙ 時差を調べる

㉚ 時差を調べる

㉛ 時差を調べる

㉜ 時差を調べる

㉝ 時差を調べる

㉞ 時差を調べる

㉟ 時差を調べる

㊱ 時差を調べる

㊲ 時差を調べる

㊳ 時差を調べる

㊴ 時差を調べる

㊵ 時差を調べる

㊶ 時差を調べる

㊷ 時差を調べる

㊸ 時差を調べる

㊹ 時差を調べる

㊺ 時差を調べる

㊻ 時差を調べる

㊼ 時差を調べる

㊽ 時差を調べる

㊾ 時差を調べる

㊿ 時差を調べる

### 12 編 2 章 170-171 ページ (第 3 号・第 4 号)

#### さまざまな発電方法の特徴と課題

① 火力発電

② 水力発電

③ 太陽光発電

④ 風力発電

⑤ 地熱発電

⑥ バイオマス発電

⑦ 原子力発電

⑧ 洋上風力発電

⑨ 太陽光発電

⑩ 風力発電

⑪ 地熱発電

⑫ バイオマス発電

⑬ 原子力発電

⑭ 洋上風力発電

⑮ 太陽光発電

⑯ 風力発電

⑰ 地熱発電

⑱ バイオマス発電

⑲ 原子力発電

⑳ 洋上風力発電

㉑ 太陽光発電

㉒ 風力発電

㉓ 地熱発電

㉔ バイオマス発電

㉕ 原子力発電

㉖ 洋上風力発電

㉗ 太陽光発電

㉘ 風力発電

㉙ 地熱発電

㉚ バイオマス発電

㉛ 原子力発電

㉜ 洋上風力発電

㉝ 太陽光発電

㉞ 風力発電

㉟ 地熱発電

㊱ バイオマス発電

㊲ 原子力発電

㊳ 洋上風力発電

㊴ 太陽光発電

㊵ 風力発電

㊶ 地熱発電

㊷ バイオマス発電

㊸ 原子力発電

㊹ 洋上風力発電

㊺ 太陽光発電

㊻ 風力発電

㊼ 地熱発電

㊽ バイオマス発電

㊾ 原子力発電

㊿ 洋上風力発電

### 12 編 3 章 229 ページ (第 3 号・第 4 号)

#### 集中豪雨から都市を守る地下調節池

近年、集中豪雨や局地的な大雨の頻度が高まっています。地面の多くがアスファルトでおおわれる大都市では、雨水が地下にしみこみにくく、そのまま湧き川に流れこむため、短時間で大雨が降ると河川の水位が一気に上昇し、あふれた水で建物が浸水するなどして、大きな被害が生じることがあります。

集中豪雨などによって起こる水害を防ぐ取り組みの一つに、地下調節池の設置が挙げられます。例えば、東京都の環状7号線という道路の地下には、複線の地下鉄のトンネルよりも大きい直径12.5mのトンネル状の調節池が4.5kmにわたって通っています。このような地下調節池は、豪雨の際に雨水を一時的にためて、洪水被害を防ぐ役割を果たすことが期待されています。

① 地下調節池(東京都杉並区 2009年)

### 12 編 3 章 199 ページ (第 2 号)

#### 花や葉を収穫して人も町も元気に

「いろいろ」で働く 西藤幸代さん

私たちは、料理にいろいろをそえる季節の葉や花を出荷しています。果樹や野菜とちがって商品自体が軽いため、高齢の私でも働きやすく、町内の約200軒の農家が「いろいろ」の事業に参加しています。草木が四季の移り変わりをを感じる喜びのある仕事ですね。

「いろいろ」の事業が始まってから、研修などのために多くの若者がこの町を訪れるようになりました。私を訪ねてくる人も増え、訪問者に一言ずつ書いてもらっているノートが今では何百ページにもなって、宝物になりました。この取り組みを通じてたくさんの人との交流が生まれ、人も町も元気になっているのはうれしいことです。

### 12 編 4 章 278 ページ (第 1 号・第 2 号)

#### 調査結果を地図でまとめよう

① ドットマップ

② 階級区分

③ 図形表現

④ 流線図

⑤ 階級区分

⑥ 流線図

⑦ 階級区分

⑧ 流線図

⑨ 階級区分

⑩ 流線図

⑪ 階級区分

⑫ 流線図

⑬ 階級区分

⑭ 流線図

⑮ 階級区分

⑯ 流線図

⑰ 階級区分

⑱ 流線図

⑲ 階級区分

⑳ 流線図

㉑ 階級区分

㉒ 流線図

㉓ 階級区分

㉔ 流線図

㉕ 階級区分

㉖ 流線図

㉗ 階級区分

㉘ 流線図

㉙ 階級区分

㉚ 流線図

㉛ 階級区分

㉜ 流線図

㉝ 階級区分

㉞ 流線図

㉟ 階級区分

㊱ 流線図

㊲ 階級区分

㊳ 流線図

㊴ 階級区分

㊵ 流線図

㊶ 階級区分

㊷ 流線図

㊸ 階級区分

㊹ 流線図

㊺ 階級区分

㊻ 流線図

㊼ 階級区分

㊽ 流線図

㊾ 階級区分

㊿ 流線図

## 4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- **メディアリテラシーへの対応** 調べ学習の手段としてインターネットや新聞を取り上げ、活用上の注意点などを示すことでメディアリテラシーが身に付くように配慮しました。 (118, 122-123, 277 ページ)
- **特別支援教育への対応** 地図やグラフではカラーバリアフリーに配慮するとともに、読みとりやすいゴシック体の振り仮名を採用するなど、色覚特性がある生徒や、小さな文字が読みにくい生徒など、さまざまな生徒が無理なく安心して学習できるように配慮しました。
- **授業のしやすさへの配慮** 資料には見開きごとのまとめで通し番号を付け、対応する本文の上に対該の図番号を付すなど、先生方が授業で指示しやすいように配慮しました。
- **環境への配慮** 再生紙と植物油インキを使用し、環境に配慮しました。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-90	中学校	社会	社会(地理的分野)	第1~2学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
2 東書	地理 725	新編 新しい社会 地理		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### ① 内容の程度・分量

#### ①見開き1単位時間の構成で、柔軟な指導計画の作成が可能

- 本文は見開き2ページで1単位時間を原則にしています。
- 目次・索引、巻末資料などを除いたページ数は277ページで、標準授業時数120単位時間のうち、5単位時間の予備時間を設け、柔軟な指導計画の作成が可能です。

#### ②バランスの良い配当時数

- 授業時数は、地理学習の導入に1単位時間、1編に51単位時間(1章に7単位時間、2章に10単位時間、3章に29単位時間、4章に5単位時間)、2編に63単位時間(1章に6単位時間、2章に15単位時間、3章に35単位時間、4章に7単位時間)を配当しており、適切な配当といえます(5ページの「対照表」参照)。

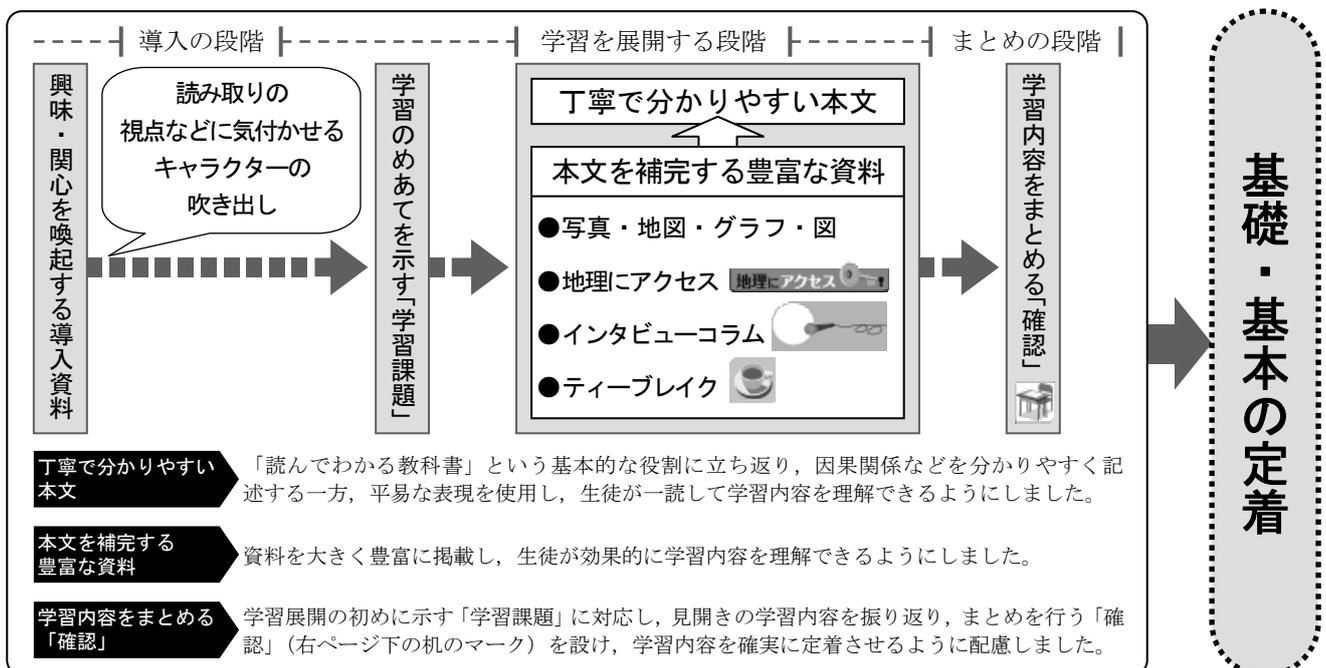
#### ③学習指導要領の内容に沿った構成と理解しやすい本文記述

- 内容の程度・範囲は、学習指導要領に示された内容を基に構成し、文章も敬体(ですます体)を用い、因果関係を明確に記述する一方、中学生の発達段階を考慮した、平易な表現を使用しています。

### ② 学習指導要領・今日的な諸課題への対応

#### ①地理的分野の基礎的・基本的な知識・概念や技能を確実に定着させる

- 見開き1単位時間の紙面を、「興味・関心を喚起する導入資料→学習のめあてを示す『学習課題』→丁寧に分かりやすい本文→本文を補完する豊富な資料→学習内容をまとめる『確認』(右ページ下の机マーク)」の流れで構造化し、学習内容が確実に定着するように工夫しました。



- 地図やグラフの読み取り方・作り方，写真の読み取り方など，地理的技能を身に付ける「地理スキル・アップ」を設け，確認問題の「ワーク」を適宜設けることで，確実に定着できるようにしました。

→9, 11, 13, 22, 131, 148-149, 268-269 ページなど

**地理 スキルアップ 2 地図帳を使った国や都市の探し方**

国や都市などの位置を調べるには，地図帳の巻末にあるさくいんを使うと便利です。例えば，③の地図に□で示されたラスベガスを例に見てみましょう。地図帳のさくいんでは，次のように表されます。

例 ラスベガス……57 C 4 S

① 地図に□で示されたソルトレークシティは，地図帳のさくいんどのように示されるか考えましょう。

② 地図帳で，中国の首都ペキンを探しましょう。

④ アメリカ西岸の地図

→11 ページ

- 地誌学習の各章の最後には，学習した知識・概念を確認する「この章の学習を確認しよう」を設け，定着の確認と振り返りができるようにしました。

→20, 42, 114, 140, 176, 263 ページ

→176 ページ

**この章の学習を確認しよう**

① 次の①から④の図は，この章で習った用語です。どのような意味の用語か，自分の言葉でそれぞれ説明しましょう。うまく説明できない場合は，掲載されているページにもどって確認しましょう。

② 下の⑤の地図を見て，次の問いに答えましょう。

③ 日本列島の気候について，⑥の①から④の気候帯をそれぞれ説明し，⑤の①から④の気候帯の分布の特徴を説明しましょう。

④ ⑤の①から④の気候帯を，⑥の①から④の気候帯の分布の特徴を説明しましょう。

⑤ 日本列島の気候帯について習った用語の分布の特徴を説明し，⑥の①から④の気候帯の分布の特徴を説明しましょう。

⑥ ⑤の①から④の気候帯の分布の特徴を説明し，⑥の①から④の気候帯の分布の特徴を説明しましょう。

- 地理の学習を進める上で必要不可欠な事項や，生徒がつまづきやすい事象については，巻末の「用語解説」で簡潔な補足説明を加えることで，確実に理解できるようにしました。

→288-291 ページ

**②段階的な言語活動で，思考力・判断力・表現力を育む**

- 各見開きには，説明・要約などの短時間でできる言語活動によって，学習内容をまとめる「確認」(右ページ下の机マーク)を設けました。

共通点や相違点に着目して説明する	キーワードを使って説明する	短い文章に要約する
<p>③の地図を見て，三大宗教(仏教，キリスト教，イスラム教)の分布の特色とヒンドゥー教の分布の特色とのちがいを説明しましょう。</p> <p>北海道地方と九州地方の自然環境を比べて，共通点と相違点を説明しましょう。</p>	<p>アフリカの環境帯がなぜ直線的なのかを，次の二つの語句を使って説明しましょう。[植民地/ヨーロッパ]</p> <p>再生可能エネルギーの利用の取り組みが個人になったのはなぜか，次の三つの語句を使って説明しましょう。[地球温暖化/気候資源/温室効果ガス]</p>	<p>アメリカの①大西洋岸と五大湖沿岸，②サンベルトのそれぞれの工業地域の様子に，それぞれキャッチフレーズを付けましょう。</p> <p>47都道府県から五つ選んで，都道府県名，面積，形，位置などを基に，キャッチフレーズを付けましょう。(例「酒類一帯! 日本の酒文，北海道」)</p>
139 ページ (上) と 253 ページ	117 ページ (上) と 161 ページ	189 ページ (上) と 137 ページ

- 各編 3 章の諸地域学習では，世界の各州・日本の各地方の学習の終わりに，「表」「ウェビングマップ」「地図」といった多様な方法でまとめる言語活動によって，その州・地方の地域的特色をとらえられるようにしました。

→58, 70, 92, 225, 237, 249, 261 ページなど

→225 ページ

**ゆきさんのまとめ**

中部地方の追究テーマ：中部地方の三つの地域で，それぞれ特色のある産業が発達しているのはなぜでしょうか。

**北陸**  
 (工業)  
 伝統産業や地産産業が発達一帯におかれる冬の副業  
 →例：小半谷ちぢみ，輪島塗，富山の発芽米など  
 (農業)  
 日本の代表的な水田稲作→土壌改良，品種改良  
 ●とりの国や地域との結び付き  
 ●港と空港，新幹線や高速道路を結び付けた物流の拠点  
 ●東海北陸自動車道

**中央高地**  
 (農業)  
 高地の中央部→稲作：水田地帯  
 盆地の周辺部→稲作：東海秋作  
 ●山と谷の地形  
 ●交通網の発達→大都市に出向  
 ●山のふもと→高冷地：高冷野菜

**東海**  
 (工業)  
 臨海部→石油化学，製鉄→原料を輸入  
 内陸部→自動車などの輸送用機械や情報機器，機械部やファインセラミックス  
 (農業)  
 牧ノ原→茶(明治以降に開墾)→水はけの特長  
 静岡県の静岡→みかんやいちご  
 ●暑い土地  
 ●温暖な気候やビニールハウス  
 ●知多半島や渚美半島→花→水路の整備

- 各編 4 章の調査学習には，学習過程における考察やまとめなどの言語活動のポイントを，「調査の達人」として提示しました。

→117, 120, 122, 123, 278 ページなど

→117 ページ

**調査の達人 ② ウェビングマップを作る**

ウェビングとは，興味を持ったことから，くもの巣状にイメージをつなげる連想ゲームのようなもので，調べたいことを見つけ，テーマをしばらくこむときに有効な方法の一つです。

(1) まずは中央に興味を持ったことを書き，そこから自分が連想する語句を自由に書き出していきましょう。

(2) 連想した語句のマップがある程度広がったら，途中で出てきた疑問を，色を変えて書きこんでみましょう。

(3) おきこんだ疑問の中から，特に興味を持ったものや，その地域の特徴が表れているものを選び出し，調査テーマにしましょう。

「静岡の給食」から，思いつくことを，次々につけて書きこんでみたよ。

小さな疑問でも，積極的に書きこんでいく。

語句のマップを広げすぎると，かえってまとめることになる。

**④ ウェビングマップの例**

調査テーマを決めるときには，①調査内容を具体的に，②資料が集まる見込みがあるが，③まとめるときに地図化やグラフ化が可能か，などに注意しましょう。

③公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養う

- 2編3章「日本の諸地域」では、各地方の学習の終わりに、それまで学習してきた内容と身近な地域で見られる事象とを関連付けて考えるように促すことで、身近な地域の特色や課題に対する関心を高められるようにしました。  
▶189, 201, 213 ページなど
- 2編4章「身近な地域の調査」では、地理学習のまとめとして、それまで学習してきたことを振り返りながら、地域の課題や変容に注目したり、調査のまとめで地域の将来像を提案したりする活動を充実することで、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました。  
▶264-281 ページなど

④環境・エネルギー、防災・安全、人権・平和など、今日的な課題の解決のための意識と態度を育てる

- 環境・エネルギー** 環境破壊の事例や地球環境問題、様々な発電方法の特徴や課題を取り上げる「深めよう」を設け、環境やエネルギーの問題への意識が高まるようにしました。  
▶71, 113, 170-171 ページ
- 防災・安全** 本文や「深めよう」で、東日本大震災などの具体的な事例を提示しながら、様々な自然災害とその地理的要因や背景、復旧・復興のための諸機関の連携や人々の協力を取り上げ、防災・安全への意識や態度を養えるようにしました。  
▶152-155, 241, 248 ページ  
→152-153 ページ
- 防災・安全** 日本の諸地域の各地方を概観するページでは、その地方で見られる防災対策など、自然との共生の工夫を取り上げるコラムを設け、地域の特色を理解しながら、主体的に社会に参画する意識を高められるようにしました。  
▶181, 205, 217, 229, 241 ページなど
- 人権・平和** 北アメリカ州で形成される多民族社会や、アイヌ民族の文化の歴史的背景、沖縄の米軍基地の現状などを取り上げる「深めよう」やコラムを設け、人権や平和についての意識を高められるようにしました。  
▶93, 103, 262 ページなど



⑤我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考え、国土や歴史に対する理解と愛情を深める

- 日本の領域について学習する单元では、本文やコラムで我が国が抱える領土をめぐる問題やその地理的な背景を取り上げ、問題を正しく理解し、国際平和のために解決すべき課題であることを意識できるようにしました。  
▶132-135 ページ  
→134-135 ページ



- 「深めよう」やコラムで、地理的特色を背景に発達した伝統産業、伝統文化、郷土料理、民話、方言などを取り上げ、歴史的背景などと関連付けて理解することで、我が国や郷土に対する理解や愛情を深められるようにしました。  
▶221, 226, 244-247 ページなど  
→226 ページ



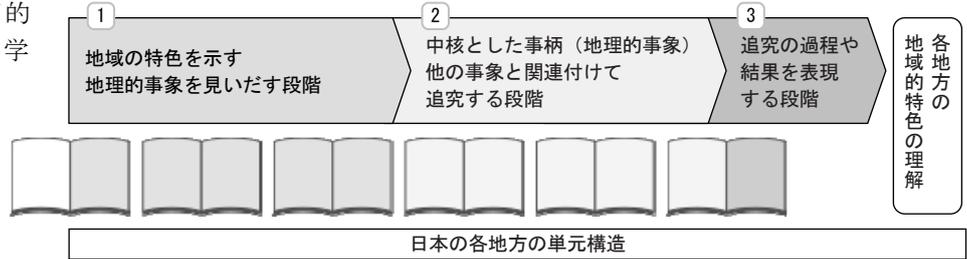
- 教科書中に写真を掲載している国宝・重要文化財、世界遺産にはマーク(宝)(重)(世)を付し、文化財を通して我が国の伝統や文化に対する理解と愛情を育てられるようにしました。

### 3 構成・配列

#### ① 「地域的特色の理解」を確実にする単元の構造化

- 各編3章の諸地域学習では、世界の各州・日本の各地方において「自然環境、産業などの基本情報をおさえる概観部」→『学習テーマ』や『追究テーマ』に沿って学習を進める展開部→「地域的な特色をまとめる終結部」の三つの段階に分けた構成にすることで、目的意識を持って地域的特色を学習できるようにしました。

九州地方の例  
 概観部：179-183 ページ→  
 展開部：184-188 ページ→  
 終結部：189 ページ



- 1編3章「世界の諸地域」では、各州の自然や生活の写真を、2編3章「日本の諸地域」では、各地方の「追究テーマ」に関連した写真を導入ページで取り上げ、生徒が学習する地域のイメージを持てるようにしました。

44-45, 82-83, 239, 251 ページなど

→251 ページ

#### 日本の各地方の「追究テーマ」

地方	追究テーマ	ページ
九州地方	環境問題・環境保全	179-190 ページ
中国・四国地方	人口、都市・村落	191-202 ページ
近畿地方	歴史的背景	203-214 ページ
中部地方	産業	215-226 ページ
関東地方	他地域との結び付き	227-238 ページ
東北地方	生活・文化	239-250 ページ
北海道地方	自然環境	251-262 ページ



#### ② 小学校の社会科学習との円滑な接続に配慮した構成

- 前見返しの「この国はどこかな」では、小学校の社会科で学習した国を振り返るプロセスを設け、1編の世界地理の学習の導入になるように構成し、中学校の学習にスムーズに移行できるようにしました。

前見返し

- 各章の学習の最初に、小学校社会科で学習した内容を用語や写真で振り返る活動を設けることで、小・中の学習をスムーズに接続できるように配慮しました。

43, 141, 177 ページなど

→141 ページ



#### ③ 分野の学習の関連を図った教材構成

- エネルギー問題や震災と防災対策、伝統的工芸品といった、並行して学習する歴史的分野や、第3学年で学習する公民的分野での学習と関連する事象については、3分野共通で扱い、他分野との関連を示す「分野関連マーク」を付すことで、多面的・多角的な学習を可能にしました。

45, 63, 154-155, 170-171, 247 ページなど

→154-155 ページ



#### ④学習効果を高める写真や図表の工夫

- 写真や図表、イラストなどの資料を豊富に掲載し、これらの資料の読み取りをはじめとした作業活動を促す「えんぴつマーク」を適宜設けることで、資料の読解力を育成できるようにしました。▶9, 15, 31, 68, 129, 161, 235, 259 ページなど
- 各地で暮らす人々が、具体的に自分たちの生活の様子を語るインタビューコラムを充実し、学習内容を身近なものとして感じながら学習が進められるようにしました。▶25, 27, 29, 31, 33, 35, 39, 54, 79, 186, 199, 245 ページなど

### 4 印刷・造本

#### ①生徒が使いやすい造本面の工夫

- 視覚的効果が高い幅広の判型(A B判)を用い、資料を豊富に掲載するとともに、写真や文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成になるように工夫しています。また、使用している文字の大きさや書体は適切で、読みやすいものになっています。
- 針金綴じを用いて製本するなど、造本は堅牢で、長期間の使用にも十分耐えるものになっています。

#### ②特別支援に関わる適切な配慮

- 色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用するとともに、グラフでは線種でも見分けがつくようにしています。
- 小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し、読み取りやすいゴシック体の振り仮名を採用しました。

#### ③用紙等の環境への配慮

- 用紙には、強度と発色性とを兼ね備えた質の高い再生紙を使用し、環境に配慮するとともに、文字や図表、写真などの資料が読みやすく、色映えするように工夫しています。
- 印刷用のインキは、環境に配慮した植物油インキを使用しています。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
地理学習の初めに		前見返し-1 ページ	1
第1編 世界のさまざまな地域	(1)	5-126 ページ	51
第1章 世界の姿	(1)-ア	5-20 ページ	7
第2章 世界各地の人々の生活と環境	(1)-イ	21-42 ページ	10
第3章 世界の諸地域	(1)-ウ	43-114 ページ	29
1節 アジア州	(1)-ウ(ア)	44-59 ページ	(7)
2節 ヨーロッパ州	(1)-ウ(イ)	60-71 ページ	(5)
3節 アフリカ州	(1)-ウ(ウ)	72-81 ページ	(4)
4節 北アメリカ州	(1)-ウ(エ)	82-93 ページ	(5)
5節 南アメリカ州	(1)-ウ(オ)	94-103 ページ	(4)
6節 オセアニア州	(1)-ウ(カ)	104-113 ページ	(4)
第4章 世界のさまざまな地域の調査	(1)-エ	115-126 ページ	5
第2編 日本のさまざまな地域	(2)	127-281 ページ	63
第1章 日本の姿	(2)-ア	127-140 ページ	6
第2章 世界から見た日本の姿	(2)-イ	141-176 ページ	15
1節 世界から見た日本の自然環境	(2)-イ(ア)	142-155 ページ	(6)
2節 世界から見た日本の人口	(2)-イ(イ)	156-159 ページ	(2)
3節 世界から見た日本の資源・エネルギーと産業	(2)-イ(ウ)	160-171 ページ	(5)
4節 世界と日本の結び付き	(2)-イ(エ)	172-175 ページ	(2)
第3章 日本の諸地域	(2)-ウ	177-263 ページ	35
1節 九州地方	(2)-ウ(エ)	179-190 ページ	(5)
2節 中国・四国地方	(2)-ウ(オ)	191-202 ページ	(5)
3節 近畿地方	(2)-ウ(イ)	203-214 ページ	(5)
4節 中部地方	(2)-ウ(ウ)	215-226 ページ	(5)
5節 関東地方	(2)-ウ(キ)	227-238 ページ	(5)
6節 東北地方	(2)-ウ(カ)	239-250 ページ	(5)
7節 北海道地方	(2)-ウ(ア)	251-262 ページ	(5)
第4章 身近な地域の調査	(2)-エ	264-281 ページ	7
		予備時間	5
		合計	120

※予備時間は、生徒の自主的な学習活動の時間や評価などにあてる時間です。

# 編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-90	中学校	社会	社会(地理的分野)	第1~2学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
2 東書	地理 725	新編 新しい社会 地理		

ページ	記 述	類 型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項
143	大陸も海底も移動する	2	・学習指導要領の内容の大項目「(2) 日本の様々な地域」のうち、中項目「イ 世界と比べた日本の地域的特色」の「(ア) 自然環境」に関連して、大陸移動説とプレートテクトニクス論を取り上げています。

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数   1  )

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容